

SEIKO

2015年度（2016年3月期）
第2四半期 決算説明会

2015年11月11日

セイコーホールディングス株式会社

1. 決算の概況
2. 決算説明
3. 2015年度の見通し

1. 決算の概況

2015年度 第2四半期決算概要

SEIKO

	(億円)	2014年度 上期実績	前回(8/11) 予想	2015年度 上期実績	増減	
					対前期実績	対前回予想
売上高		1,379	1,500	1,515	+135	+15
営業利益		75	95	113	+37	+18
%		5.5%	6.3%	7.5%	+2.0p	+1.2p
経常利益		77	95	113	+35	+18
%		5.6%	6.3%	7.5%	+1.9p	+1.2p
親会社株主に帰属 する四半期純利益		132	70	75	△57	+5
換算 レート	USD	103.0	115.7	121.8	+18.8	+6.1
	EUR	138.9	137.1	135.1	△3.8	△2.0

◆ ウォッチ事業

国内市場は、消費増税の影響があった前年同期に比べ、日本人需要の回復とインバウンド需要の伸びに支えられ、売上、利益ともに大きく拡大した。

海外市場は、欧州ではドイツ・オランダ等、アジアでは台湾等を中心に売上を伸ばす一方、米国では客先の在庫調整等により出遅れる結果となった。また、中国の経済成長の鈍化に伴い、中国やその周辺国での売上が伸び悩んでいる。

◆ 電子デバイス事業

スマートフォン向けや車載向け製品を中心に半導体が好調に推移。水晶振動子やプリンタ関連も売上を伸ばした。

課題事業となっていたハードディスクコンポーネントやカメラシャッター関連は、固定費圧縮等により赤字を大幅に縮小し、電子デバイス事業全体で収益改善となった。

◆ システムソリューション事業

通信モジュール等の売上減少により、事業全体の売上は前年を下回ったものの、決済端末関連製品が順調に推移し、利益面では赤字改善となった。

◆ その他

-クロック事業

ヒット商品に加え一部商品の値上げ実施等により、上期の売上は順調に推移。固定費の削減も進み、営業利益が改善した。

-和光（小売）

グランドセイコー、セイコーアストロンの好調とインバウンド需要による輸入ウオッチの売上増加が和光全体の売上を牽引。売上の増加に伴い利益も改善した。

セイコーブティック オープン

グローバル市場でのブランド価値向上に向け、セイコーブティックの展開を推進

<新規オープン>

2015年7月 フランクフルト
銀座（セイコープレミアムブティック）
2015年9月 モスクワ、ブダペスト



フランクフルト



銀座



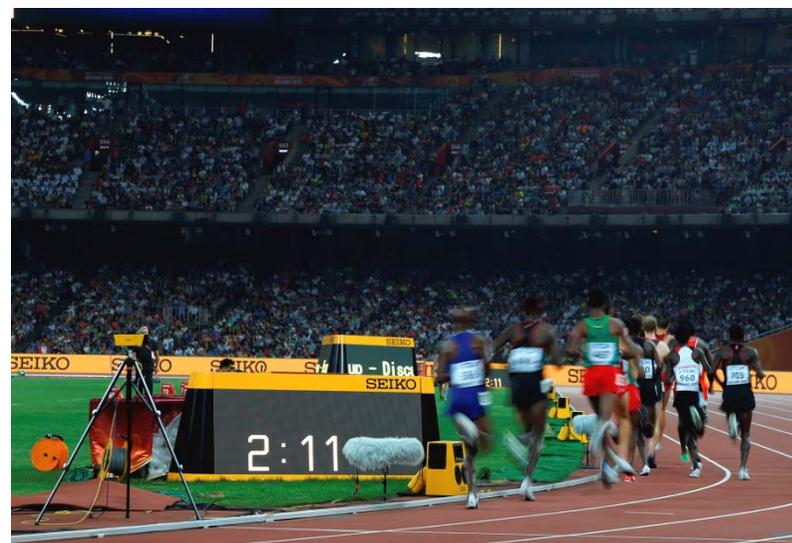
モスクワ

半導体事業 / 大判プリンタ事業

- ◆ 半導体事業の新会社設立及び事業移管の決定
株式会社日本政策投資銀行と共同出資で新会社を
設立し、SIIの半導体事業を移管することを決定
2015年9月 正式契約締結・新会社設立
2016年1月以降 共同出資（当社持分60%）
（予定） 事業移管
- ◆ 大判プリンタ事業の譲渡
大判プリンタ事業を2015年10月1日、株式会社
沖データへ事業譲渡

IAAF世界陸上2015

- ◆ 8月22日から30日まで、中国・北京で開催されたIAAF世界陸上2015北京のオフィシャルタイマーを担当。
当社は1987年のローマ大会以来、14大会連続で世界陸上の支援を行っている。



2015年度 業績予想

(億円)	14年度 実績	前回 (8/11) 予想	今回 予想	対前回予想 増減
売上高	2,934	3,200	3,200	±0
営業利益	116	160	160	±0
%	4.0%	5.0%	5.0%	±0.0p
経常利益	123	160	160	±0
%	4.2%	5.0%	5.0%	±0.0p
親会社株主に帰属 する当期純利益	217	120	120	±0

2015年度 下期リスク

- ◆ 中国経済の減速による周辺国、新興国を中心とした世界経済の悪化
- ◆ 米国の利上げによる新興国経済の混乱
- ◆ 資源価格の長期低迷による資源国経済の低調
- ◆ 国内景気も中国経済の減速をはじめとする世界経済の不安定さから不透明な先行き

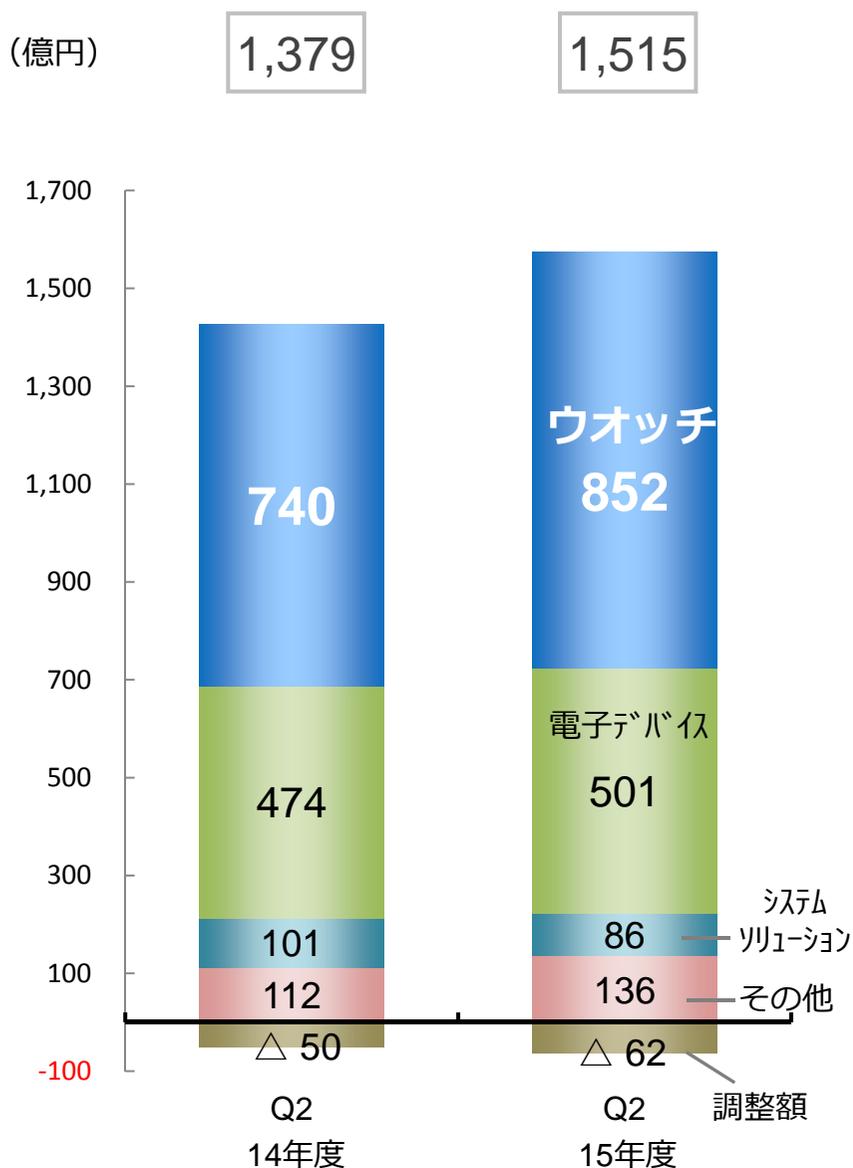
2. 決算説明

2015年度 損益 – 第2四半期 (累計 4月-9月) –

SEIKO

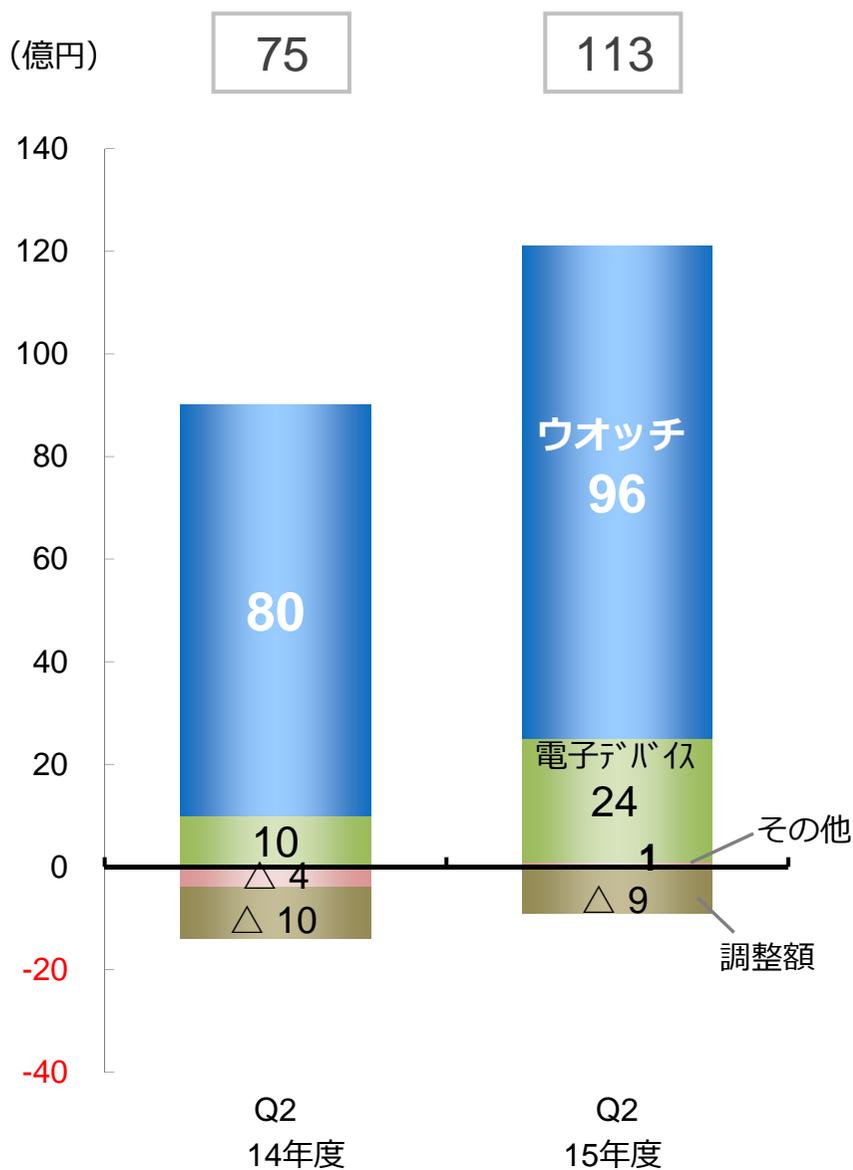
(億円)	14年度 Q2(累計)	15年度 Q2(累計)	増減			
			増減額	増減比		
売上高	1,379	1,515	+135	+9.9%	売上高： 対前年 +135 為替による影響 約+110	
売上総利益	491	560	+68	+14.0%	営業利益： 対前年 +37 売上総利益増加 +68 経費増加(販売費等) △30	
営業利益	75	113	+37	+50.1%	経常利益： 対前年 +35 営業利益増加 +37 支払利息減少 +7 為替差損益悪化 △8 受取配当金増加 +1 その他営業外費用増加 △2	
%	5.5%	7.5%	+2.0p	—		
経常利益	77	113	+35	+46.6%	特別損益内容： △15 特別利益 0 特別損失 △15 事業構造改善費用 △15	
%	5.6%	7.5%	+1.9p	—		
税前利益	155	97	△57	△37.2%		
親会社株主に帰属 する四半期純利益	132	75	△57	△43.2%		
%	9.6%	5.0%	△4.6p	—		
換算 レート	USD	103.0	121.8	+18.8	+18.3%	
	EUR	138.9	135.1	△3.8	△2.7%	

事業別売上高 - 第2四半期 (累計 4月-9月) -



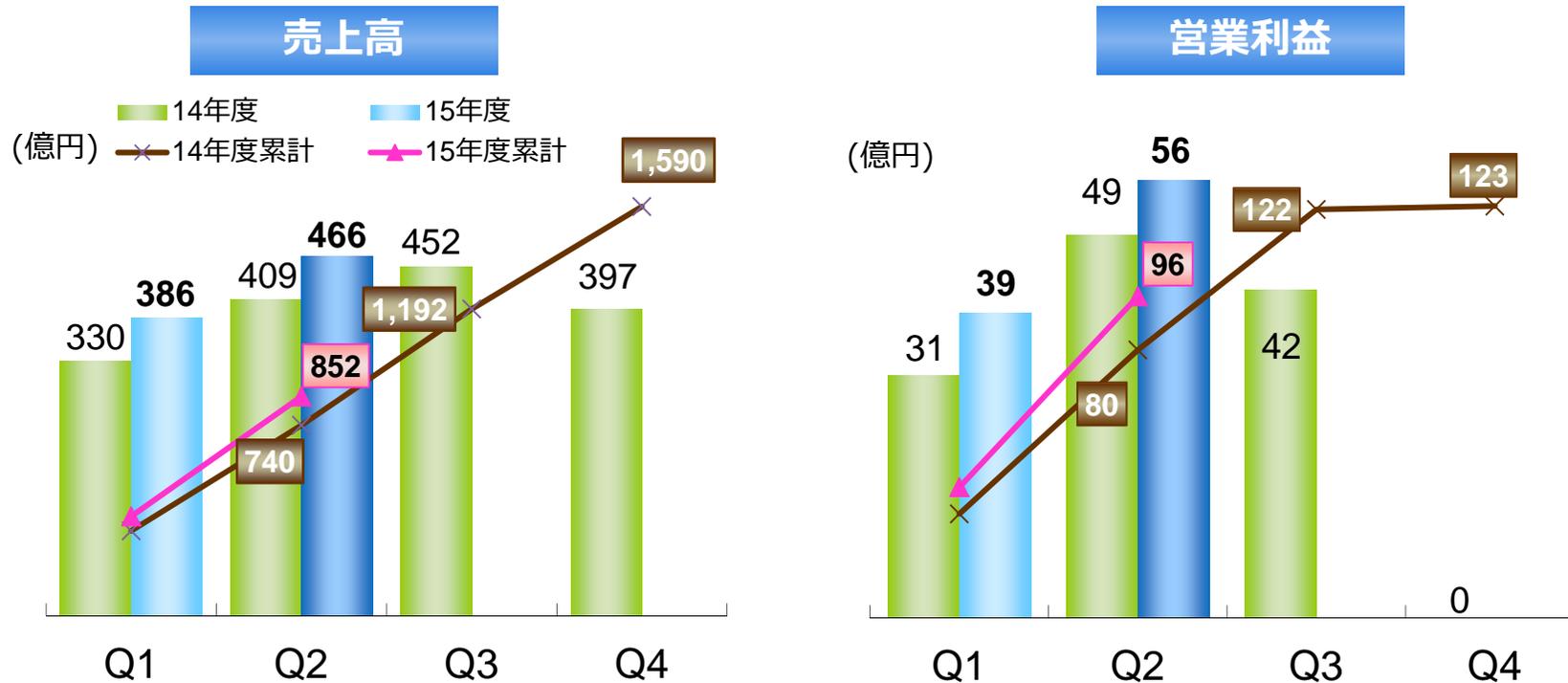
(億円)	売上高		
	14年度 Q2(累計)	15年度 Q2(累計)	増減
ウオッチ事業	740	852	+112
電子デバイス事業	474	501	+26
システムソリューション事業	101	86	△14
計	1,316	1,441	+124
その他	112	136	+23
調整額	△50	△62	△11
連結計	1,379	1,515	+135

事業別営業利益 – 第2四半期（累計 4月-9月） –

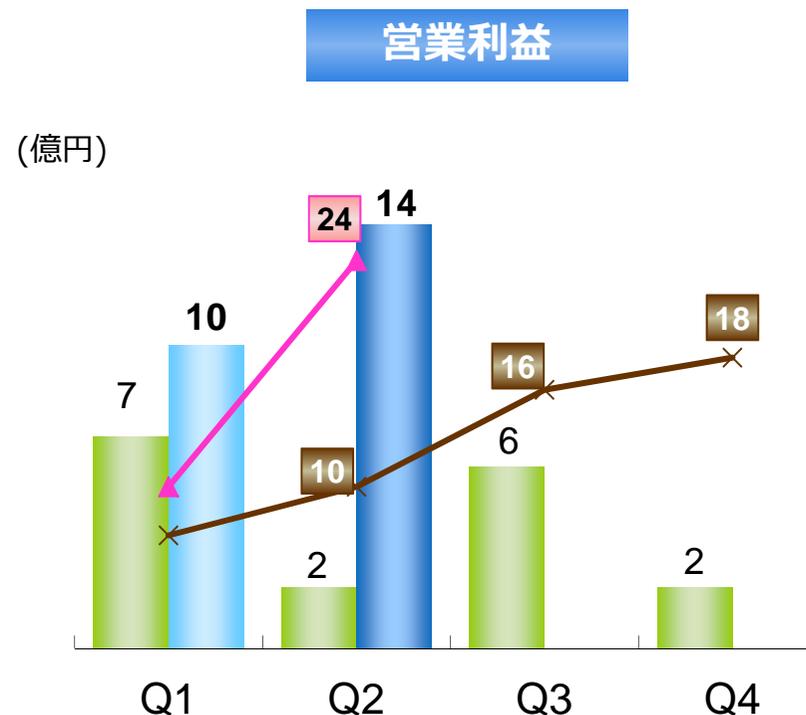


(億円)	営業利益		
	14年度 Q2(累計)	15年度 Q2(累計)	増減
ウオッチ事業	80	96	+16
電子デバイス事業	10	24	+14
システムソリューション事業	△0	△0	+0
計	89	121	+31
その他	△4	1	+5
調整額	△10	△9	+0
連結計	75	113	+37

セグメント情報

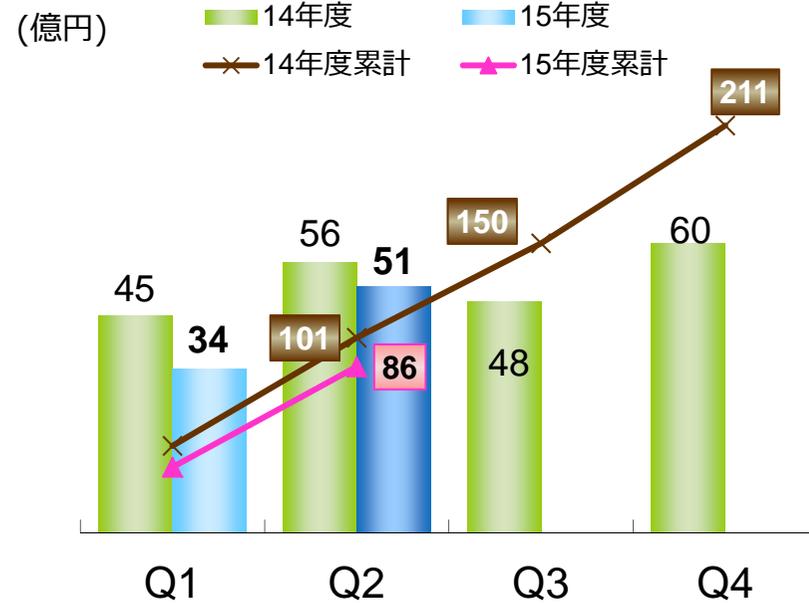


- 完成品ウォッチ (国内) :** 「グランドセイコー」、「アストロン」が引続き好調。「メカニカル」はインバウンド需要に加え、日本人需要にも支えられ売上を拡大し、「プロスペックス」もダイバーズウォッチの新製品を中心に売上を伸ばした。レディースでは「ルキア」、「ティセ」が堅調に推移している。
- 完成品ウォッチ (海外) :** 米国は客先の在庫調整等により出遅れている。欧州では「アストロン」が順調なドイツ、オランダで売上が伸長。アジアは台湾で売上を伸ばしたが、中国は経済成長の鈍化により伸び悩んだ。
- ムーブメント :** 中国の景気低迷の影響により売上が伸び悩んでいる。

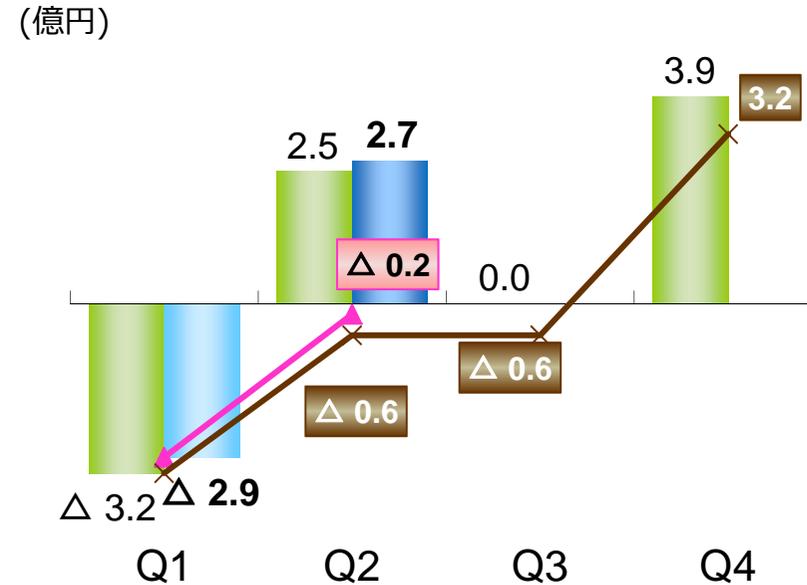


- デバイス** : 半導体は車載向け製品やスマートフォン向け製品を中心に引き続き好調に推移し、水晶振動子ではGPS、監視カメラ等向けの売上が拡大した。
- メカトロニクス** : 売上の増加、固定費の削減などにより第2四半期の収益は大きく改善。
- その他** : 大判プリンタを除き、プリンタ関連の売上は堅調に推移。第1四半期は前年同期比で伸び悩んだ放射線計測機器も、第2四半期はほぼ前期並みとなった。

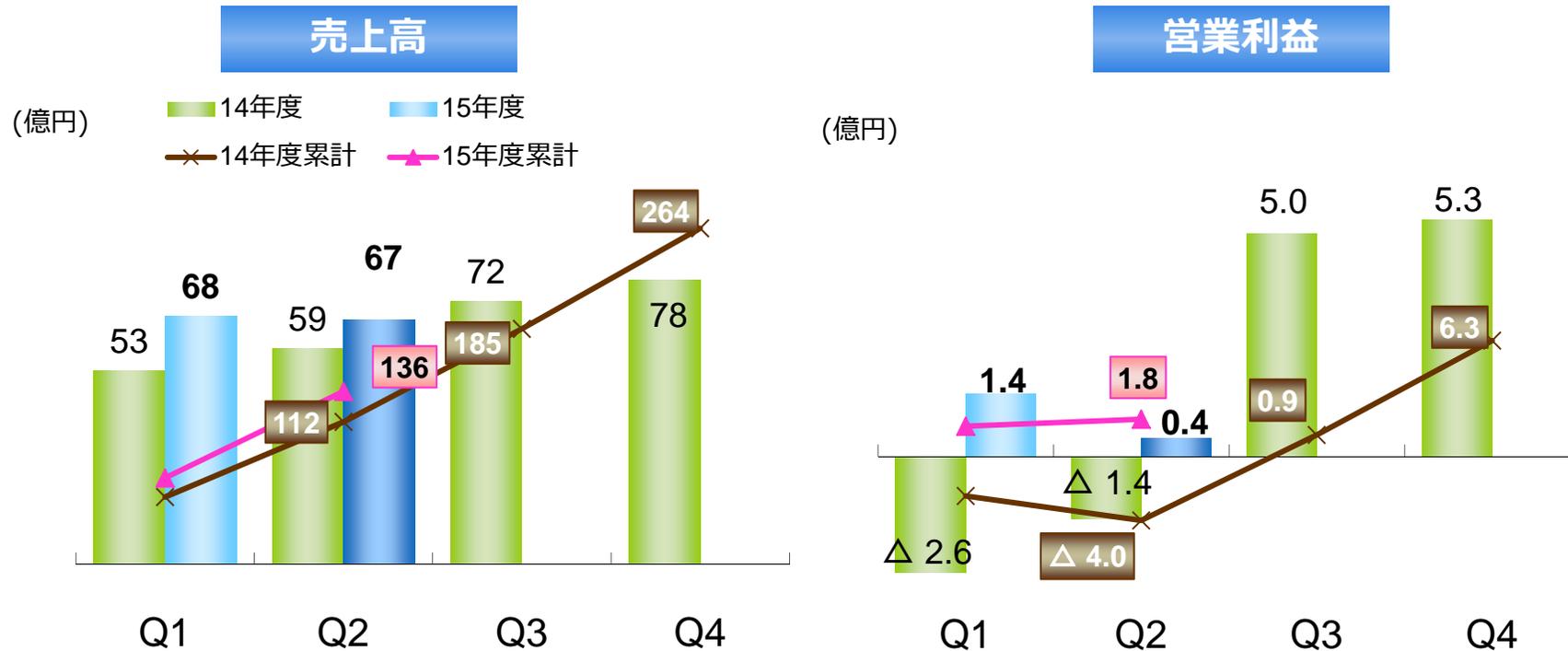
売上高



営業利益



- ・ 決済端末関連製品は順調に推移したが、通信モジュールや外食産業向け製品などが伸び悩み、全体の売上高は前年同期を下回った。
- ・ 売上高は伸び悩んだものの、事業統合による業務の改善、経費の削減により営業利益は前年同期レベルを維持。

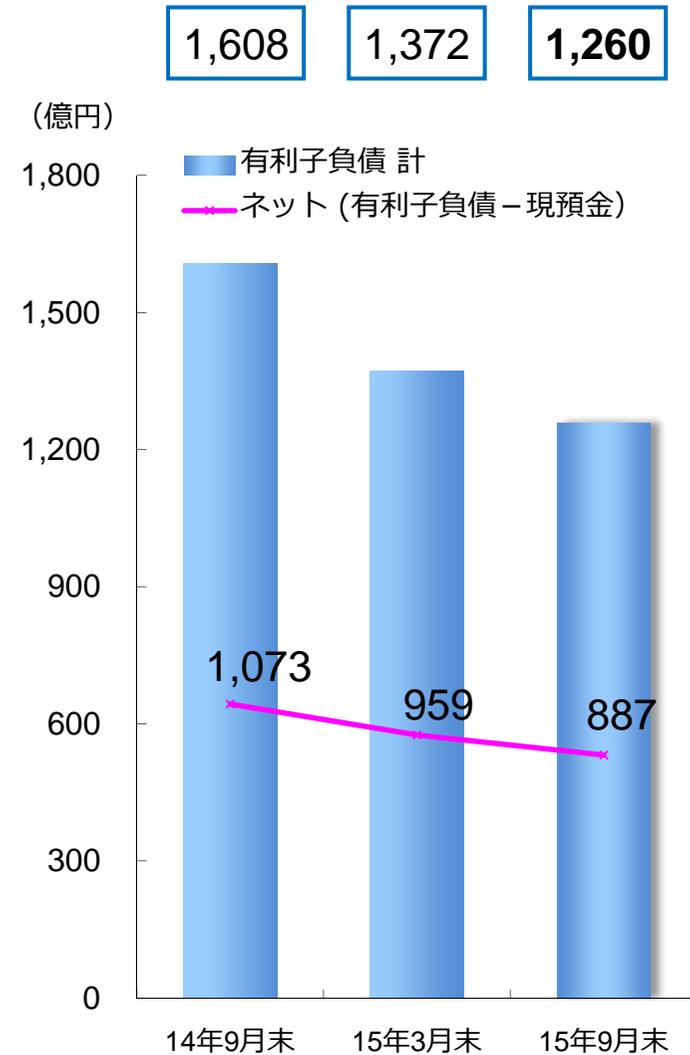


- ・ クロック : 円安が進みコストが膨らむ中、ヒット商品や一部商品の値上げにより売上を順調に伸ばし、収益面でも改善が進んだ。
- ・ その他 : 和光では外国人観光客に人気の高い輸入ウォッチに加え、「グランドセイコー」や「アストロン」等のセイコーブランドも好調に推移し、全体の売上、利益を牽引した。

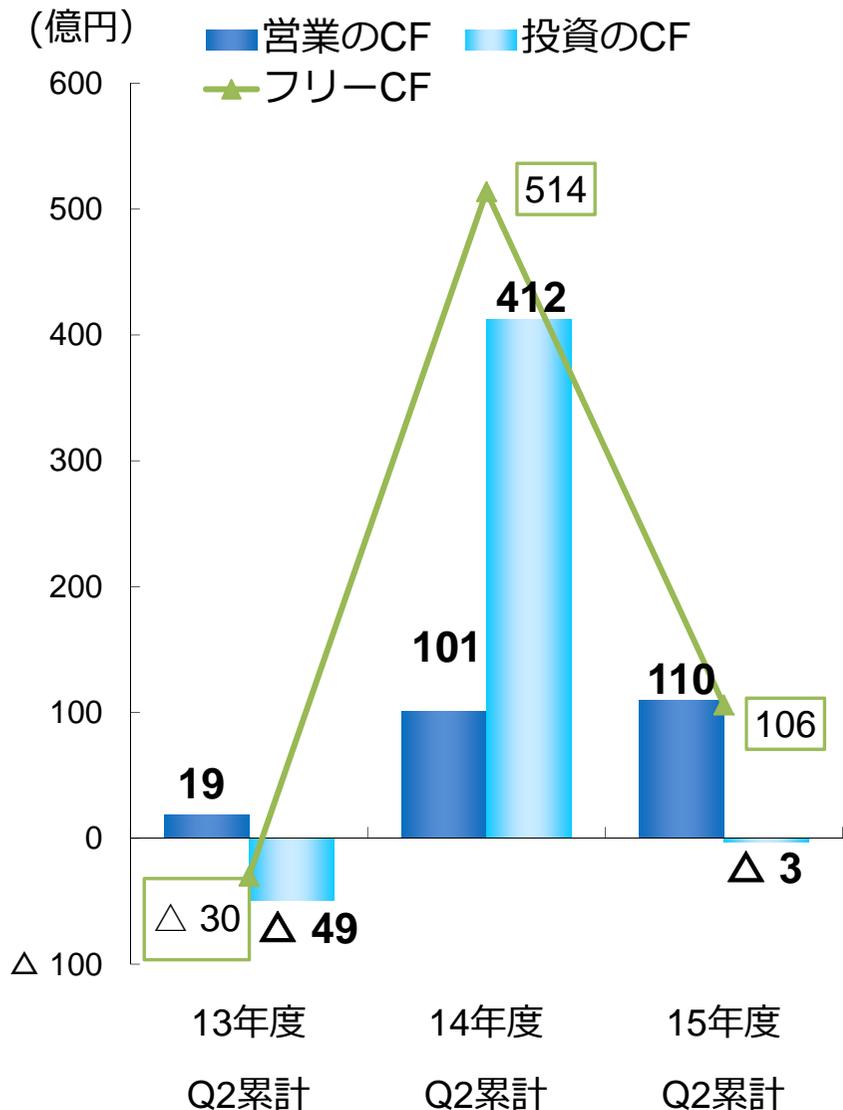
2015年9月末 貸借対照表

(億円)	2014年 9月末	2015年 3月末 (a)	2015年 9月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	643	629	701	+72
有利子負債	1,608	1,372	1,260	△111
純資産	886	925	944	+18
総資産	3,605	3,337	3,250	△86
自己資本比率	24.0%	27.1%	28.5%	+1.4p
ネットD/E レシオ	1.2	1.0	0.9	△0.0
従業員数	13,515	13,565	13,872	+307

有利子負債



キャッシュフロー



	13年度 Q2累計	14年度 Q2累計	15年度 Q2累計
税引前当期純利益	117	155	97
減価償却費	59	53	48
その他	△157	△107	△36
営業のキャッシュフロー	19	101	110
有形固定資産の取得	△66	△40	△64
その他	16	453	61
投資のキャッシュフロー	△49	412	△3
借入金の借入・返済収支	33	△400	△108
その他	△8	△16	△26
財務のキャッシュフロー	24	△417	△135
換算差額等	△19	8	△2
現金及び現金同等物	402	531	371
フリーキャッシュフロー	△30	514	106

3. 2015年度の見通し

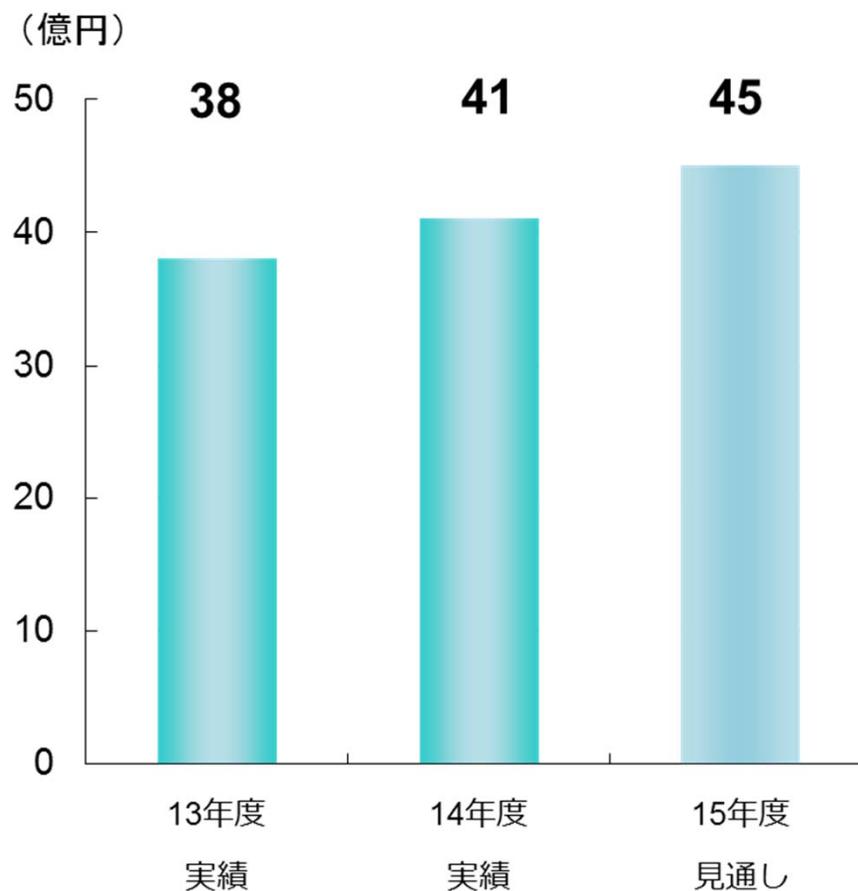
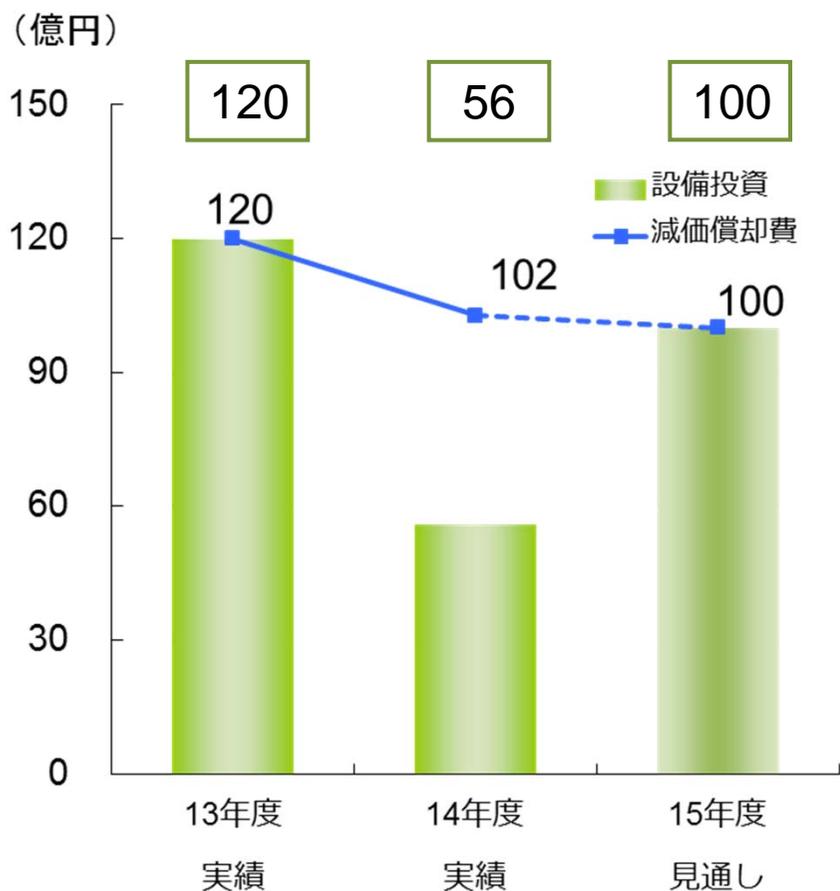
(億円)	14年度 実績	前回見通し (8/11)		今回見通し (11/10)		対前回増減	
		上期	通期	上期 (実績)	通期	上期	通期
売上高	2,934	1,500	3,200	1,515	3,200	+15	±0
営業利益	116	95	160	113	160	+18	±0
%	4.0%	6.3%	5.0%	7.5%	5.0%	+1.2p	±0p
経常利益	123	95	160	113	160	+18	±0
%	4.2%	6.3%	5.0%	7.5%	5.0%	+1.2p	±0p
親会社株主に帰属 する当期純利益	217	70	120	75	120	+5	±0
%	7.4%	4.7%	3.8%	5.0%	3.8%	+0.3p	±0p

2015年度 見通し - 事業別売上高・営業利益 -

(億円)	売上高				営業利益			
	14年度 (実績)	15年度見通し		対前回 増減	14年度 (実績)	15年度見通し		対前回 増減
		前回 (8/11)	今回 (11/10)			前回 (8/11)	今回 (11/10)	
ウオッチ	1,590	1,750	1,750	±0	123	135	135	±0
電子デバイス	961	1,000	1,000	±0	18	40	40	±0
システムソリューション	211	240	240	±0	3	10	10	±0
計	2,763	2,990	2,990	±0	145	185	185	±0
その他	264	300	300	±0	6	10	10	±0
連結計	2,934	3,200	3,200	±0	116	160	160	±0

設備投資・減価償却費

研究開発費



* 2013年度の設備投資にはタイ洪水被害からの復旧分を含む。
 * 2014年度は設備投資からオペレーティングリースに変更となった投資があったことや、2015年度に投資時期が変更になった投資があったこと等により減少。

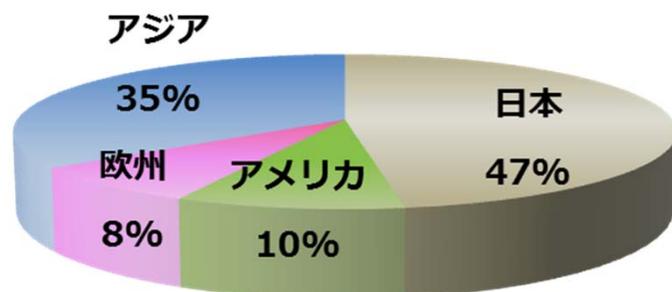
2015年度 見込期間為替感応度 (6か月分)

	USD	EUR
見込レート	110.0円	130.0円
売上高	約7.0億円	約0.6億円
営業利益	約1.0億円	約0.3億円

2015年度

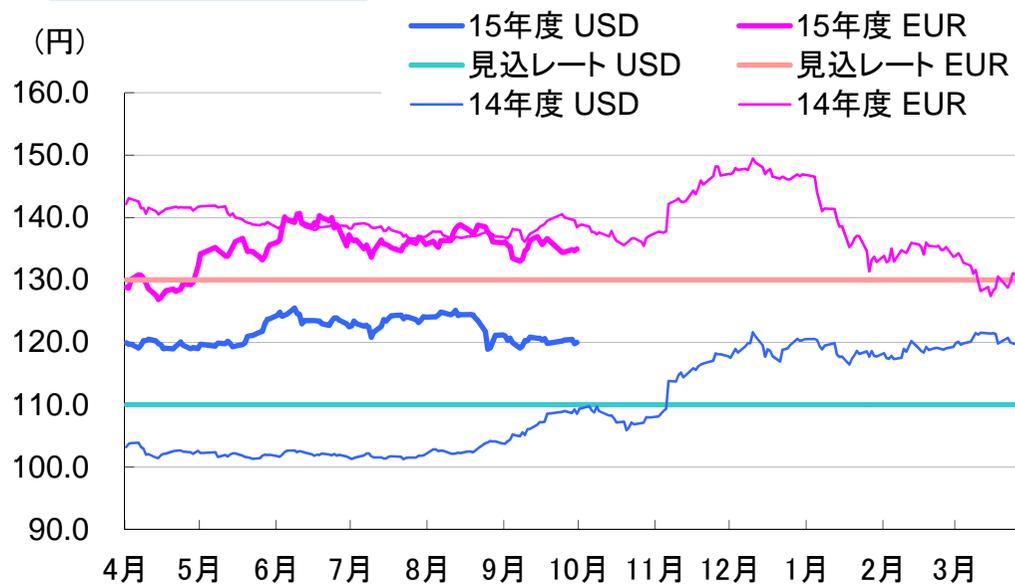
		Q1	Q2	見込レート
平均レート	USD	121.4	122.3	110.0
	EUR	134.2	136.0	130.0
決算日レート	USD	122.4	119.9	110.0
	EUR	137.2	134.9	130.0

地域別売上高比率



* 2014年度実績値

換算レート推移



◆ 将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。

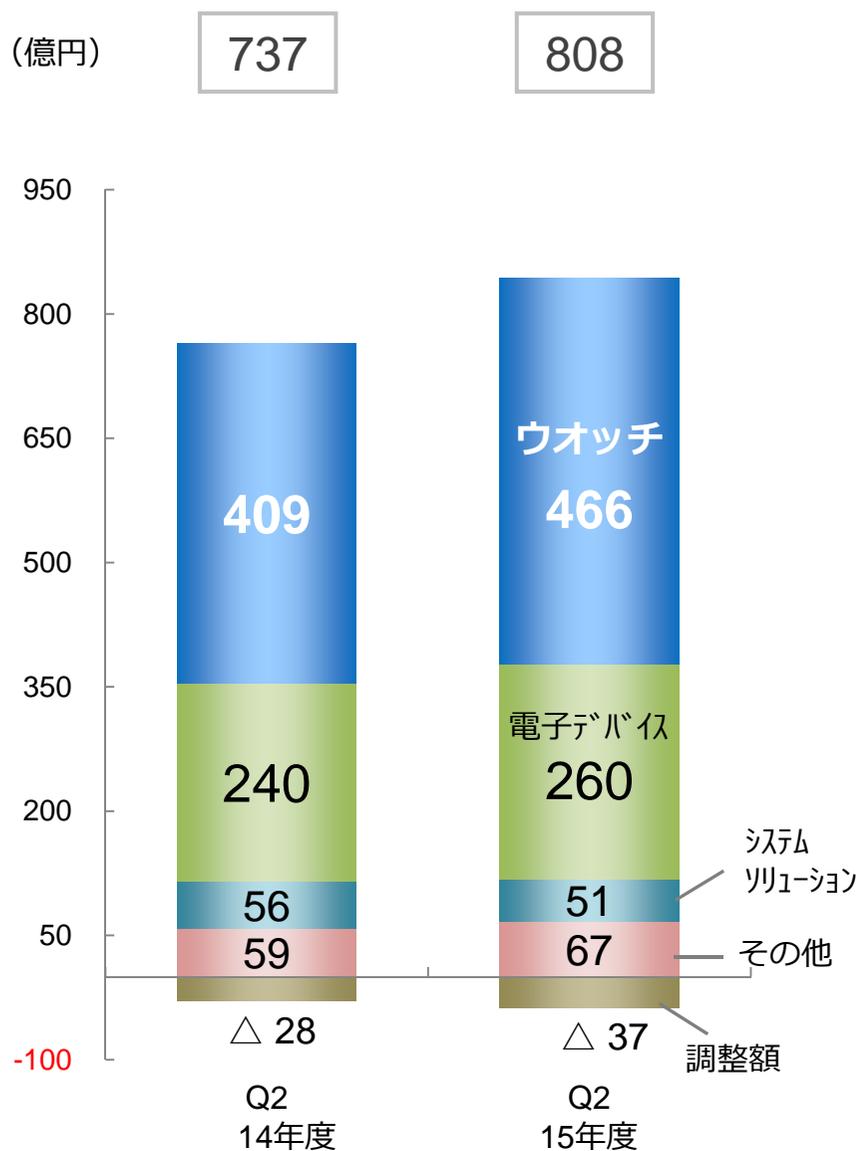
※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

参考

2015年度 損益 – 第2四半期 (期間 7月-9月) –

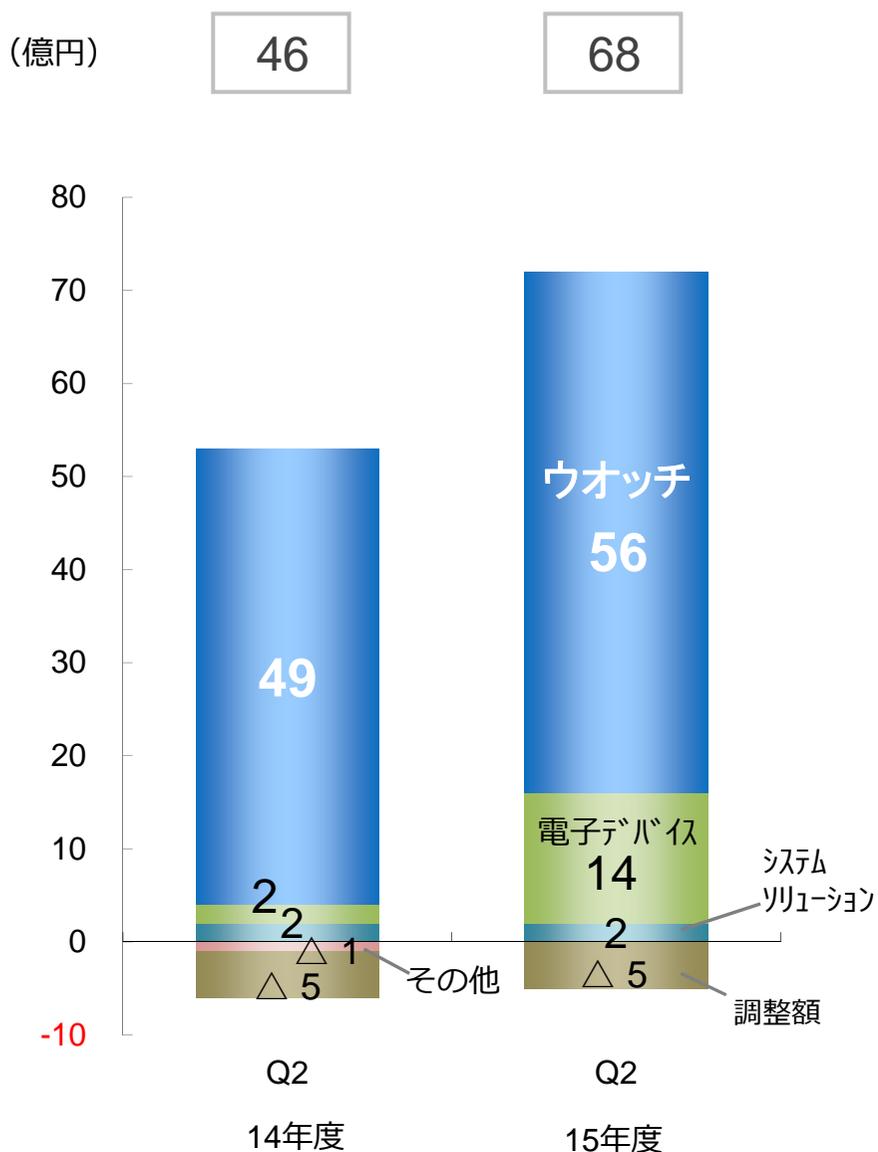
(億円)	14年度 Q2	15年度 Q2	増減			
			増減額	増減比		
売上高	737	808	+71	+9.7%	売上高： 対前年 +71 為替による影響 約+55	
売上総利益	264	298	+33	+12.7%	営業利益： 対前年 +21 売上総利益増加 +33 経費増加(販売費等) △12	
営業利益	46	68	+21	+46.0%	經常利益： 対前年 +8 営業利益増加 +21 支払利息減少 + 3 為替差損益悪化 △13 その他営業外費用増加 △ 2	
%	6.4%	8.5%	+2.1p	–		
經常利益	53	61	+8	+15.0%	特別損益内容： △15 特別利益 0 特別損失 △15 事業構造改善費用 △15	
%	7.3%	7.6%	+0.3p	–		
税前利益	131	46	△85	△65.0%		
親会社株主に帰属 する当期純利益	123	37	△85	△69.2%		
%	16.7%	4.7%	△12.0p	–		
換算 レート	USD	103.8	122.3	+18.4	+17.8%	
	EUR	137.7	136.0	△1.7	△1.3%	

事業別売上高 - 第2四半期 (期間 7月-9月) -



(億円)	売上高		
	14年度 Q2	15年度 Q2	増減
ウオッチ事業	409	466	+56
電子デバイス事業	240	260	+19
システムソリューション事業	56	51	△4
計	706	778	+71
その他	59	67	+8
調整額	△28	△37	△9
連結計	737	808	+71

事業別営業利益 – 第2四半期（期間 7月-9月） –



(億円)	営業利益		
	14年度 Q2	15年度 Q2	増減
ウオッチ事業	49	56	+7
電子デバイス事業	2	14	+11
システムソリューション事業	2	2	+0
計	53	73	+19
その他	△1	0	+1
調整額	△5	△5	+0
連結計	46	68	+21

End
